

本年も「次なる茨木」の実現に
取り組んでまいります。

明けましておめでとうございます。

皆さまには、令和最初の輝かしい新年を健やかに
お迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は540人分の保育所の整備、安全で楽しい公園
遊具への更新、英語学習やタブレット学習の充実など、
子育てと教育の支援に取り組むとともに、元市民会館の
解体、まちづくり会社の設立など、多世代で豊かさ・幸せを
実感できるまちづくりを着実に進めてまいりました。通学路
やお散歩コースの安全点検、引き続きの地震・台風の
被災者支援など、安全・安心のまちづくりにも傾注いたし
ました。

本年も、魅力あるプロジェクトを着実に推進するなど
「安全・安心」「豊かさ・幸せ」を実感できる「次なる茨木」
の実現に取り組んでまいりますので、皆さまの変わらぬ
ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

茨木市長 福岡洋一



NEW!

まちなか魅力 UP プロジェクト進行中！

まちに茨木らしいゆとりとにぎわいを。JR茨木駅と阪急茨木市駅間の中心部に注目です。

01 市民会館跡地エリアの 整備が始まる！

元市民会館の解体も終わり、いよいよ市民会館跡地
エリアの整備が今春スタートします。1月18日に開催
される公開プレゼンを経て、ホールや図書館、子育て
支援機能などを備えた新施設・広場のプラン
や事業者が決まります。

TEL:655-2757 (市民会館跡地活用推進課)



02 まちなか空間をみんなで作って、 実際に「使ってみる」にトライ！

市民会館前に期間限定の芝生広場を作った社会実験
「IBALAB」。昨年はエリアを広げ、まちなかのちょっとした
空間をもっと魅力的に使ってみる「IBALAB plus」へ
と発展。道路でお絵描き、駐輪場で夜市、通りを
マーケットに……市民主体で挑戦しました。

TEL:620-1605 (政策企画課)



03 まちなかを魅力的にする プロジェクトへの参加者募集中！

今年も、市民会館跡地での暫定広場の整備など、まち
なかを魅力的な場にするためのさまざまな企画を予定
しています。広報誌をはじめ市のWEBサイトにご注目くだ
さい。みんなで一緒に“心地いい”空間をつくって
みませんか？

TEL:620-1660 (都市政策課)



04 行政と民間がタッグ。 まちづくり会社が始動

まちなかへの店舗誘致や、楽しく過ごせる居心地のよい空間
づくりをめざすまちづくり会社「FICベース株式会社」が商工
会議所や市、市内の大学・事業所の出資で昨年8月末に発足。
JR茨木や阪急茨木市駅前の道路空間活用事業
などからまちづくりをスタートしていきます。

TEL:697-9469 (FICベース株式会社)



特集

イバラキな場所

まちに夢中

今、まちの中心に、ちょっとおもしろい「場」が増えています。
新たな定番になりつつある場所に共通するのは
「茨木をもっと面白くしたい」という想いでした。

都市政策課 TEL:620-1660

PART1

茨木の暮らしがもっと楽しく、豊かに。

つながる、広がる新定番

リノベのいばらき

集まれ! ハンドメイド&DIY ファン

茨木阪急本通商店街にあるリノベーション工房。1時間単位で大きな作業台や工具を利用でき、ちょっとした収納棚作りなど日曜大工にぴったり。家具の修理も受け付けており、指導を受けながら自分で直すことも可能だ。ハンドメイドやDIYなどのワークショップも随時開催。おしゃれでほどよいサイズ感の作品が作れると女性を中心に好評で、手づくり好きの輪を広げている。

元町3-39
TEL:657-7675
10時~16時(月・火・金曜日休)



見学はいつでも大歓迎!
子ども向けの講座もあります。
ものづくりの楽しさを
ぜひ一緒に

講師 上野 大さん



左上/かわいい作品たち 右上・右下/市民会館跡地の期間限定芝生広場でこたつや寄せ植えプランターを作るなど他のイベントとのコラボも多彩 左下/昨年11月はIBALAB plusの会場作りもお手伝い

SOU/One Art Project

本物の芸術を日常の中に

JR総持寺駅の改札を出たところにある大きな壁画。テーマに合わせた作品の拡大プリントを展示する「SOU」は、駅開業に合わせて始まった。「今回の絵はおもしろい」「前もよかった」など、自分なりの感性で自由に楽しむことができる。アートがもたらす豊かさを茨木のまちに生かしたいという思いは、市民とともにつくるプロジェクトにも広がり、まちなかに新しい魅力を作り出している。

SOU
TEL:620-1810(文化振興課)
カコイバ
TEL:655-2757
(市民会館跡地活用推進課)



SOU



One Art Project

茨木はアートとの距離が近いまち。ふだんの生活の中で出合って感性を揺さぶって

「アート=敷居が高い」ではなく、身近なものにしていきたいです

稲垣元則さん
ディレクター



藤本聖美さん
ディレクター



上/SOUの作品は約半年ごとに入れ替わる 右下/2月7日～11日には本町センター(元町8-8)でSOUの実作品を展示する「real SOU」を実施※ 左下/市民会館跡地工事現場の囲いを使った言葉のアート「カコイバ」は、参加した市民229人の言葉をしりとりでつないだもの。これを木の枝に書いた作品は2月15日～22日に総持寺いのち・愛・ゆめセンター(総持寺2-5-36)で展示※25ページ参照

5坪計画 大正テンソル館

始めたい人を応援する集いスペース

空いた時間にパツと借りてパツと帰れる。そんな場所にと作った貸しスペースは、大正時代の古民家をリノベーションしたもの。フードやスイーツの販売、ハンドケアやコンサートのようなイベントだけでなく、個人的な集まりにも気軽に利用できると好評だ。お試してカフェやハンドメイド作品の販売をしてみるなど、夢への一歩を踏み出すにもぴったりで、何か始めたい人を応援してくれる。

別院町2-17
TEL:090-3618-6859
9時～21時(不定休)



レンタル料は1時間800円から。自分がやりたいと思っていることを自分の歩幅で実現できます

奥木翔子さん
オーナー





茨木ラーメン

日替わり店主に会いに行く夜のお楽しみ

人気の自家焙煎珈琲店が、夜は“茨木のおもしろい人”が日替わりで店主になるバーに。店主は「プロではない人」が条件のため、美容関係や自転車屋、鶏農家など昼間は別の顔を持つ人ばかり。個性たっぷりの店主を目当てに集う人は興味も似ているから、自然と話が盛り上がる。夜な夜な生まれるつながりが広がって大きくなり、茨木に新しい化学反応が起こればいい。店名に込められた思いがカタチになる日は遠くなさそうだ。

西中条町7-24-101
※昼は「たたらば珈琲 Torte」
TEL:647-7914
20時30分～23時(不定休)



左上・右下／ちょっと妖しい?看板が目印。照明などで昼間の雰囲気をチェンジ 右上／店主や居合わせた客との会話がここの魅力 左下／もうひとりの発起人、グラフィックデザイナーの本村信裕さんも「ポッポさん」という名で店主に。「Welcomeな場所なので、入りにくいなどと思わず、気軽に遊びに来てください」

茨木阪急本通
商店街内。
気軽にのぞいて
みたい



定期出店される手づくり弁当、パンや地元野菜などのほか、金継ぎのワークショップなどが人気。ハンドメイドアクセサリーやアンティーク、リメイク洋服の展示販売などから、子連れイベントまで内容は多彩

レトロモダンな雰囲気のこじんまりした空間。奥には小上がりも

PART 2

行動するほど、好きになる。

/// 市長も飛び入り! ///

イバラキLOVEな大人女子座談会

まちに出て、まちや人と関わるのはむずかしいこと?

茨木の魅力をつくる場に関わる4人の女性に、行動する楽しさについて聞きました。

まちとの
関わりかたが変わった
ことで自分自身も
変わることが
できました

座談会
メンバー
(50音順)

臼本享子さん
福祉ネイリスト。
「IBALAB」に誘われたの
をきっかけに「IBALAB
plus」にも参加

まちとつながる きっかけは「人」

臼本 茨木ジャーナル(茨木の情
報を発信するWEBメディア)に
書いたコメントを見た人から
「イベントするから来ない?」と
誘われて行ったのが**IBALAB**
でした。その流れで、**IBALAB**
PLUSにも参加しました。

片山 大学生の娘と私の手作り
アクセサリーや、夫の自家焙煎
コーヒーのお店を大正テンスル館
(4ページ参照)に2回出店しま
した。お店を出すのは初めて。娘
に「お母さんも!」と迫られて、
趣味のつまみ細工を出しました。

山本 16年前に引っ越して来た
時に、ローズWAMのボランティア
講師の募集を見つけて以来、パン
教室をしています。大人数で緊張
したけど、みなさんに助けられな
がら今も続いています。私もテン
ソルさんで、忍頂寺の農家Farm
河野屋さんの野菜の横でパンを
売ってます。

酒井 私は元々寄せ植えの教室
をやっていたのですが、幼稚園マ
マに教えるうちに少しずつ広まっ

て、親子教室をするようになりま
した。ハビママ(茨木ハビママフェ
スティバル)にも初回から声をか
けていただき、出店しています。
ハビママの主宰者の紹介でリノベ
のいばらき(3ページ参照)の話
もあり、立ち上げ時にはワーク
シヨップをさせてもらいました。

行動したからこそ得られる 発見や喜びがある

山本 テンスルさんや**いばきたマ
ルシェ**でパンの販売をするようにな
ったのも、農家さんからのお声
がけです。「おいしい」と、また足を
運んでくれる方、教室に來たいと
言ってくれる方もいます。少しず
つですけど、ご縁が広がっていく
のがうれしいですね。

酒井 IBALABには私も参
加しました。芝生広場に寄せ植え
をする「いばよせ」では、リノベで
プランターを作り、1つのプラン
ターを1家族で管理して、種まき
から収穫までを体験してもらいま
した。みんなが他の人のプラン
ターも気にながら責任を
持つて関わってくれて、横のつな

がりを感ずることができたのが
よかったです。

片山 私は娘から提案があった
ときに「人様に買っていたくださ
うな品物を作るなんて無理!」と
言ってしまったくらい、自信があ
りませんでした。娘に背中を押さ
れたから、腹をくくったという感
じです。でも、やってみたら後悔
なんてひとつもないと思えるく
らいに楽しかった。店の中からい
ろいろなものを見ることができ
たり、お客さんと会話をしたり、
わくわくするような体験がたく
さんありました。

臼本 私は高齢者や障がい者福祉
に関わる仕事をしているので、最
初はバリアフリーなどの目線だけ
で考えていました。でも、参加して



① イバラボ IBALAB

市民会館跡地エリア活用の
キーコンセプト「育てる広場」
実現に向けた取組みとして、
一昨年に行われた社会実験。期
間限定の芝生広場を参加市民
と作り、ひと箱サイズのフリマ
やマルシェ、こたつを置いて過
ごすなど、みんなの発案によ
りさまざまな企画を実施



② イバラボ IBALAB PLUS

まちなかのちよっとした空間を
より魅力的に使用してみる市民
参加型の社会実験。駐輪場(に
ぎわい亭前)に芝生を敷いて開
催した「茨木夜市」を皮切りに、
通りの軒先や公園、道路、閉
店した公共施設のオーブンス
ペースなど、さまざまな場所で
実施された企画を通して、まち
なかに普段とは違った使い方
やにぎわいを創出



このまちは
あたたかい。
いろいろな人との
つながりで自分も
世界も広がりました



山本昌代さん
ローズWAMを中心にパン
教室を実施。「大正デンソ
ル館」や「いばきたマル
シェ」ではパンの販売も

子どもと
一緒にできる活動の
大切さを実感。
自分にできることで
茨木を盛り上げたい



酒井智児さん
ヒアリングガーデナー。
親子ガーデニング教室や
「IBALAB」「リノベのい
ばらき」など幅広く活動

今できることに
チャレンジしながら
茨木での生活を
楽しんでいます



片山幸子さん
市民歴約1年半。昨年10月、
11月に「大正デンソル館」に
アクセサリ&コーヒーの店
を初出店

まちに関わってみたら、楽しいことが増えた。 自分自身も、世界も、広がった。

ハッと気づいたのは、まずは人と人とのつながりをつくる必要があるということ。茨木に暮らすひとりの市民としてまちを見て、考えることが大切だと視点が変わり、自分からまちに出て行くという気になりました。

市長 まちに出ることが、いろいろなプラスをくれたんですね。

茨木の暮らしを

楽しくするのは自分次第

市長 みなさんいろいろな方法でまちと関わられています。その一つひとつが、茨木の魅力をつくっているように思います。

臼本 最近印象的だったのは、IBALAB plusの、道路にチョークでお絵描きをするイベント。「イベントのことは知らなかったけど、通りかかったら楽しそうなので参加してみた」という方を含め、300人くらいが来ていたんです。

山本 私は先日、こども会の行事で3世代が参加するパン教室を開催したのですが、これがとても楽しくて。おじいちゃん、パン生地をさわるの初めてだし、子ども

は粘土遊びのよう。多世代で交流できるあたたかな雰囲気も、茨木の魅力のひとつではないかと、改めて感じるようになりました。

臼本 IBALABでは3歳からベテラン農家までいろいろな世代の人が参加していました。

酒井 私たちを含め、イベントを主催したり出店したりしている人は、特別「意識が高い」というわけではなく、茨木が好きで、茨木をもっと楽しみたいという、普通の人々たちです。まずは興味があることに参加してみてもいい。情報収集すると、楽しいことはいっぱいありますよ。

臼本 もっと多くの人にまちづくりの活動に参加してもらいたいのですが、どのくらいの熱量

でお誘いの声をかけたらいいのかと悩んでいます。

市長 まずは巻き込む形でも、僕はいいと思います。どうするかは、自分で判断されると思います。

全員 確かに。誘われたのがきっかけですが決めたのは自分でした。

市長 人と人とのつながり、クチコミの力はすごいので、ぜひみなさんも広がってってください。

酒井 なにかを始めたいという人は、出店者に声をかけてみるのも、ひとつの手だと思います。

片山 私は、みなさんに比べたらまだまだですが、自分自身がときめいたり楽しんだりしていることが何よりも大切だと思っています。それから、自発的な気持ちをもちながら、自分のペースで茨木のまちと関わっていけたらと思っています。

山本 4人でコラボしたイベントもできそうですね。ますます楽しみが広がりました。

女性目線をまちづくりにもどんどん取り入れます

お話をうかがって、皆さんそれぞれが思う豊かな暮らしを、このまちで形にされているのだと感じました。これからも市民の皆さんのちょっとした一歩、大切な一歩を支え、そして広げるお手伝いをしていきます。

茨木市長 福岡洋一



③茨木ハピマフエスティバル
立命館いばらきフューチャー
プラザで行われているハンド
メイド雑貨の販売や、親子で
参加できるワークショップが
楽しめるイベント。昨年の開
催で10回目

④いばきたマルシェ

茨木ショッピングタウン内で定期
的に行われている「茨木えき
まえマルシェ」のひとつ。茨木
北部地域の3つの地区（忍頂
寺、泉原、佐保）の農家がそ
れぞれ2回、旬の野菜を販売